

公園と隣接する小学校とアート装飾展示企画 「150体の森の化身大集合!？」

「猿江恩賜公園」

所在地/東京都江東区 活動時期/2024年2月～2024年3月



森の化身代表「カラフル4兄弟」



子どもたち同士で楽しく装飾を行いました。



隣接する小学校の多くの生徒が訪れました。



150体の森の化身たち

猿江恩賜公園では、園内で農業体験ができる学校農園プログラムを実施するなど、隣接する江東区立毛利小学校と日々連携を図っています。2024年2月10日から3月10日には、都市公園制度制定150周年を記念したアート装飾展示「150体の森の化身大集合!？」を生徒と職員と一緒に制作しました。ただ職員が園内を装飾するのではなく、地域とのつながりを活かした企画展示にすることで、より一層の愛着を持って広く親しまれる公園づくりに挑戦しました。



活動の目的

都市公園制度制定150周年を記念して、「自然」×「アート」×「公園」をテーマにアート装飾展示を企画しました。園内の樹木150本に目(シール)をつけ、代表木には布や毛糸、落ち葉、まつぼっくりなどで装飾をすることで、公園がもつ自然や地域とのつながりを活かした親しみやすい公園を目指しました。

取り組み・成果

近隣の江東区立毛利小学校に企画提案を行い、3年生の美術の授業を使って、協働制作を行いました。様々な種類の葉や授業で一度使用した毛糸、パークペインティングの過去作品の布も再利用し、装飾を実施しました。使用した自然物に興味を持っている生徒も多く、自然教育や樹木・公園の魅力度向上にも寄与しました。

今後の目標・課題

公園での活動体験や自分の作品があることは、公園への愛着につながることがわかりました。また、企画を通して子どもたちとの関わりや増加、利用者の方から声をかけられる機会が増えたことで職員のやりがいにつながりました。今後も公園の自然を活かしたイベントや地域とのつながり・連携を活かしたプログラムを実施していきます。



地域とのつながりを活かした企画を、今後も実施していきます。

再開発される街の中 江戸時代から続く神社境内の改修

「愛宕神社」

所在地/東京都港区 活動時期/2023年1月19日～2024年5月31日



南側エリアは全面的に透水性舗装を行いました。



裏参道は石張舗装と砂利舗装で整備を行いました。



縁台の設置などにより憩いの空間を創出しています。



参拝客も多く訪れる愛宕神社の参道や境内の舗装工事を行いました。(男坂上り、白鳥居の先にある丹塗門)

愛宕山再開発の一環で境内の整備工事を行い、発注者の独立行政法人都市再生機構と愛宕神社、設計業者、指定業者の方達と密に連携を取り合い、改修工事が完了しました。東京都23区内で最も高いとされる愛宕山の山頂にある「愛宕神社」は都心のオアシスとして、常に参拝客が訪れるほか、ご祈祷や結婚式なども行われています。御影石や白玉砂利などを使った舗装整備や、デッキ・縁台などの休憩施設の設置により、境内をより広く感じられることが出来るようになり、都会ではなかなか感じられない、特別な雰囲気のある憩いの空間として仕上がりました。



活動の目的

「歴史を保全し、バリアフリーな空間を作る」というコンセプトで施工を行いました。神社境内という特殊工事では、石碑や鳥居の移設など難しい工事がある中で、御神木等や自然石でつくられた歴史ある景観を維持しつつ、参拝者の方が利用しやすいような空間づくりを意識しました。

取り組み・成果

境内の駐車場や緑道に透水性・保水性の高い舗装などのグリーンインフラを整備したことにより、雨水流出抑制やヒートアイランド現象の緩和などに取り組みました。また、もともとある石材を再利用することで、景観に馴染ませ、廃棄物の削減につなげました。

今後の目標・課題

工事中は様々な関係業者がいる中で密に打ち合わせを行いました。調整や要望が数ある中で「求められるものを形にする」ということは非常に難しいと感じましたが、関係者全員の協力があってよい空間を作ることができました。今後も伝統ある神社の歴史に貢献できるよう協力していきたいと思っています。



2024年6月23日・24日に行われたほおづき市の様子。

地域へ届ける 文京宮下公園 開園式

「文京区立文京宮下公園」

所在地/東京都文京区 活動時期/2023年3月2日～2024年3月9日



来園いただいた地域の方々へ花苗を配布しました。



パネル展示で工事の様子や防災施設の紹介をしました。



協賛会社とともにイベントを盛り上げました。



文京宮下公園 遊具ひろば

今回の再整備工事でインクルーシブ遊具や防災施設を整備し、利用者のニーズに沿った誰もが安心して楽しく健康的に過ごすことができる公園へと生まれ変わりました。リニューアルした公園の魅力をお届けするため、開園式典とイベントを実施しました。式典には区長、町内会長、施工者の代表者等が出席し、テープカットと記念植樹を行ったほか、式典後のイベントではキッチンカーの出店や重機の試乗体験、遊具メーカーを招いての説明会、花苗の配布を行い、工事に携わった協賛会社とともに地域の方々へ公園の魅力を発信することができました。



活動の 目的

工事へのご理解をいただいた近隣住民の方々へ感謝を伝えるとともに、リニューアルした公園の魅力を感じてもらえるようなイベントにしたいと考えました。公園の改修が進む様子をパネル展示で紹介したり、遊具や防災設備の使い方をお知らせすることで、造ったものを地域に直接届け、安心して公園を利用してもらうことを目的としました。

取り組み ・成果

開園式当日は、式典の後に展示パネルによる遊具の紹介、重機の試乗体験や花苗ノベルティ配布などのイベントを実施しました。小さなお子さま連れを中心に多くの方に来園いただき、公園の機能を伝えることができました。また、建設業への親しみを持ってもらうこともできました。

今後の 目標・課題

施工者としても実際に公園を利用している様子や利用者とコミュニケーションを取ることはやりがいにつながります。完成した公園が地域の方々にとって心地よく過ごせる場所となり愛着をもって利用してもらえるよう、今後もイベントなどを通じて直接公園の魅力をお伝えできる機会を増やしていきたいと考えています。



重機試乗体験の様子。子どもたちは興味津々です。

隅田川スーパー堤防工事から繋がる 地域との絆

「隅田川スーパー堤防」

所在地/東京都荒川区 活動時期/2022年3月14日～2024年2月22日



作業前の切り立った堤防と護岸



完成後に堤防の上から緑と川の景色を望む。



川から作業用の船を使用して工事を行いました。



完成後に新たに生まれた緑のテラス(堤防の機能が緑の下に隠されています)

東京都の隅田川では河川治水と快適な水辺空間の創出を目的にスーパー堤防工事が行われてきました。北部緑地では荒川区内でスーパー堤防工事と被覆工事を行いました。工事期間中は、荒川地域のコミュニティ活動である「下町荒川おひさまネットワークプロジェクト」に参加し、誰でも気軽に参加できる大豆サポーターとして大豆が育つ姿を地域の方々に観察してもらいました。また、隅田川に面する荒川区でもっと川を身近に楽しんでもらいたいと活動する団体「川はともだち」の呼びかけに協力し、「あら！かわ街づくりシンポジウム」にパネラーとして参加。河川工事をきっかけに地域の繋がりを活性化させる活動を行いました。



活動の 目的

河川工事と周辺地域活動を通じて、河川治水や快適な水辺空間の創出に周辺地域の理解を広げています。また、地域での市民活動を応援することで、当工事で生まれた新たな水辺空間をより活用してもらうことにも繋がります。

取り組み ・成果

取り組みを目にしてくれた市民や関係者は、それぞれの活動を理解していただいています。また、同活動で関わった市民団体には隣接公園での別のイベントなどにも参加していただき、活動は未来に繋がっています。

今後の 目標・課題

建設工事を関係者だけで進めるのではなく、周辺地域の理解や相互の活動を行うことで、工事完成後の施設、空間活用の促進に寄与することができる良い事例であったと思います。今後も様々な建設現場で同様の事例を増やしていきたいです。

〈活動実施会社/北部緑地株式会社〉



工事現場の入口で大豆を育成中



大豆が沢山実りました。



シンポジウムの資料



川を身近に感じる機会となりました。

屋内にこもりがちな季節を 逆手に取った催事「ほっとな冬まつり」

「桂川ウェルネスパーク」

所在地/山梨県大月市

活動時期/2024年1月28日



山梨県の郷土おやつ「うす焼き」を炭火でつくる体験



自然観察プログラムの様子



ニュースポーツ体験会の様子



ビッグかるた大会

大寒を迎え屋内にこもりがちな季節を逆手に取った催事として、参加者が自然のチカラでエコに体を温めることがテーマとなっています。コロナ禍を経て3年ぶりの実施となる「ビッグかるた大会」は、交流広場の斜面を座布団ほどの大きさの絵札めがけて一斉に駆け上がる当イベントの目玉となっており、幼児から大人まで白熱した戦いを見せました。山梨県の郷土おやつとして知られる「うす焼き」を炭火でつくる体験では、当年度に収穫した公園産の小麦粉を生地に使用し、山梨の小麦文化を周知できるプログラムとして好感触を得ました。



活動の 目的

参加者が自然のチカラでエコに体を温めることがテーマとなっています。身体を動かして温まるプログラム、山梨県や大月市の食文化に触れるプログラム、自然界の生物がどのように寒い冬を乗り越えているのかを学習するプログラムを提供しました。

取り組み ・成果

各ブースの運営スタッフとして、当園で実施している年配者向けスポーツプログラム「筋トレくらぶ」の参加者にお手伝いいただきました。イベントボランティアを通して地域住民が自己発現できる場を創出できただけでなく、公園利用者との交流を通して新たなコミュニティが生まれる場ともなりました。

今後の 目標・課題

2023(令和5)年度は、来場者は目標1000名に対し、推計1085名と狙い通り集客することができました。利用者の少ない閑散期となる季節に多くの利用者を集める工夫が必要です。また、地域のシニア層も活動を通して自己発現できる場を創出することで、様々な地域課題や社会課題の解決に繋がっていきたくと考えます。

〈活動実施会社/株式会社アメニス山梨〉



「ほっとな冬まつり」パンフレット

緑豊かな空間で地域と繋がる 「ボッシュ新本社」室内植栽

「ボッシュ新本社」

所在地/神奈川県横浜市都筑区

活動時期/2023年7月～2024年6月



緑がふんだんに使われた新本社1Fのオープンスペース

横浜市都筑区に新しく誕生したボッシュ新本社において、オフィスでは類を見ない規模の室内緑化を実現しました。設計者と協議を重ね、植栽デザインから施工まで一貫して行いました。弊社の「bio-Wall 壁面緑化」と植物育成用照明「bio-Light+」が採用され、高さ20mの壁面緑化やオフィスのインテリア植栽により、緑豊かな空間をつくりました。地域のコミュニティや賑わいを創出し、ウェルビーイングの促進が図られるよう、植栽の維持管理に努めています。



活動の 目的

新本社機能に加えて、「都筑区民文化センター」という地域施設を一体化した空間でもあり、地域住民も利用できるカフェやオープンスペースのある開かれた施設となっています。社員の方々にウェルビーイングを届けると共に、地域コミュニティや賑わいの創出に寄与する緑化空間をつくりました。

取り組み ・成果

吹き抜け空間は一部トップライトがあるものの、植物が生育するには照度が足りない環境でした。照度シミュレーションを何度も行い、植物が生育できる環境を整備しました。大空間をダイナミックに彩る植物の選定や緑化デザイン、光環境の検討が求められましたが、「bio-Light+」の効果もあり、植物は良好な状態を維持しています。

今後の 目標・課題

吹き抜け空間の壁面緑化の大部分は在来種の植物を用いました。室内空間において在来種を用いた壁面緑化の事例は殆どないため、今後植物の維持管理をしていく中で、管理データを蓄積・分析し、環境や植物の生育状況の変化に応じて柔軟に対応できるよう、適切な維持管理と空間演出を目指します。

〈活動実施会社/株式会社グリーバル〉



自然光と緑の憩いのスペース



植物が健全に育成できるようbio-Light+ (植物育成用照明) を設置



高さ20mにもなる大迫力の壁面緑化

なぎさの森おーいにボランティア ビーチクリーン&干潟の生き物

大井ふ頭中央海浜公園「なぎさの森」

所在地/東京都品川区・大田区

活動時期/2023年1月～毎月1回継続中



干潟の清掃活動



干潟の動植物を採取



観察舎にて生き物の観察

「なぎさの森おーいにボランティア」のメンバーが主導で一般の参加者と一緒に、干潟保全地区の清掃を行い、職員の解説を交えながら、干潟の生き物の観察会を行うイベントです。通常は人の出入りが制限されている、干潟保全地区を、身近な自然、保全すべき環境としてアピールし、保全への理解を年間で1つのテーマに基づいた観察を続けています。



キアゲハの幼虫を触る



動植物の解説



発見した動植物を記録



観察した動植物を干潟に返す。

活動の目的

海浜公園に求められる「生き物が生息する環境の保全と回復」及び「自然観察等を手軽に楽しめ、多様な海の魅力を体感できる空間としての活用」の両立を目指し、海上公園ビジョンにて掲げられた目標を実現するために開催しているイベントです。

取り組み・成果

干潟を身近に感じてもらうために、清掃活動と公園の利用促進として動植物の説明・保護にも興味を持ってもらっています。また、生き物の観察結果をトピックスとしてまとめ、観察舎内のなぎさの生き物の展示コーナーには「ビーチクリーン&干潟の生き物」で調査したことを掲示しています。

今後の目標・課題

干潟に興味を持ってもらい、干潟の見学、体験を希望する団体の増加傾向にあることから、今年度より環境学習等を目的とした干潟体験の受け入れを行っています。また、観察時の詳細な記録を残すことで、単に生き物を見て楽しむだけでなく、より科学的なイベントとなるように工夫しています。

北海道の自治体に移動式エアコンを納品 冷房需要が急増した地域に設備導入

「滝上町庁舎・文化センター」

所在地/北海道紋別郡滝上町

活動時期/2023年8月～2024年7月



移動式エアコン・ヒエスポの外観



文化センター搬入時の様子

当社で取り扱う「移動式エアコン・ヒエスポ」を北海道紋別郡滝上町に4台納品しました。本製品は冷房の設備がない、または不足している施設において、大規模な配管工事を行うことなく冷房設備の導入を可能にします。室内の除湿を行い、冷風を送るため、室内の暑さ指数(WBGT値)を下げ、町民の皆さまの熱中症対策に期待ができます。また、人が集まる場所を狙ってクールスポットを設けることにより、全館空調と比較して省エネになります。



活動の目的

北海道は道南の一部を除き亜寒帯気候に分類され冷涼な気候ですが、近年は真夏日や熱帯夜の日数増加に伴い、熱中症対策のため、エアコン需要が増加傾向にあります。しかし、既存の建築物はエアコンを設置する前提で設計されていないため、据付型のエアコンを導入しづらく、解決策が求められていました。

取り組み・成果

今回は滝上町に移動式エアコン・ヒエスポを4台納品しました。設置箇所は庁舎や図書館など多くの人が集う場所になります。本機納品後にお客様と連絡を取り、廃熱処理を行うことで効果を高めました。庁舎で働く方々や図書館を利用する方々に除湿された冷風を送ることができるようになり、快適に過ごしていただけるようになりました。

今後の目標・課題

北海道に限らず、夏季に猛暑が続く昨今において、冷房をはじめとした「冷熱」需要は年々高まっています。地球温暖化を緩和するため、温室効果ガスの発生を抑制しながらも、我々が生活する上で温暖化に適応した快適空間を創造するため、冷熱のソリューションを日々探求し、提案に繋げていきたいです。



庁舎会議場に設置後の状況



図書館(文化センター内)に設置後の状況

絵本の世界を公園に再現 編み物で地域をつなぐアムアム

「尼崎市橘公園」

所在地/兵庫県尼崎市 活動時期/2023年4月～2025年3月



市内各地でチラシを配布し毛糸と編み地を募集



公園スタッフと地域の人が関わるきっかけに。



編み地をつなぐ作業を公共施設で毎週開催



市役所に隣接した橘公園にある3本の木に編みぐるみを施しました。

ヤーンボミングという手法に注目し、地域でアトリエを営むアーティストを中心に、障がい者が運営するチャリティショップ、コープこうべ、市役所、尼崎信用金庫など多様な主体とともに公園内の毛糸のアート作品を作るプロジェクト。自宅に眠っている毛糸の寄付を募り、さらにこれらを地域の高齢者から子どもまで様々な人に編んでもらい、巨大な作品を公園に展示しました。2000 をこえる毛糸のパーツが集まり、のべ400 人を超える人の手で生まれた作品を見るために、自分の作品を見ようと足を運ぶ人が増え、公園との新たな関わりが生まれました。



- 活動の目的**

公園を身近に感じてもらうために「コーエンスイッチ！」と題して、視点をスイッチする実験を展開しています。泥団子づくり、草野球観戦、ベンチづくりなど既存の資源を使って、気軽に公園と関わるきっかけを探っています。本プロジェクトは冬の樹木と家庭で不要の毛糸、シニアが培ってきた手仕事の底力を組み合わせて生まれました。
- 取り組み・成果**

作品のパーツとなる毛糸と編み地を、高齢者施設から幼稚園まで幅広い世代と施設から募りました。それらをつなぐ作業を毎週開催し、多くの人の手で1つの作品を作りあげました。絵本「おおきな木」をテーマにした3作品は公園で開かれる福祉系イベントでお披露目した後も4カ月間、冬の公園を彩りました。
- 今後の目標・課題**

2年目は絵本「モチモチの木」をテーマに新作に挑戦し、初年度の作品に使った編み地を地元の幼稚園児たちと洗濯するなど、年を経るたびにに関わり方の幅が広がっています。障がい児施設も参加できる方法を新たに工夫しながら、インクルーシブな取り組みを目指しています。



視覚障がい者の編み物サークルも参加



洗濯も幼稚園の行事として協力



大量に寄せられた毛糸



地元の作家もりもりさんが作品を監修

地域交流拠点としての公園整備と 人と緑のアートイベントへの協賛

「千葉公園」

所在地/千葉県千葉市中央区 活動時期/2023年5月～2024年2月



千葉市内にリニューアルした緑の交流拠点

2024年4月にリニューアルした千葉公園は、PFI 工事として既存の野球場の解体から施設工事、植栽工事と弊社が施工に携わりました。園内にはメイン広場である「芝庭」をはじめ、パンプトラックやカフェ、フィットネスジム等様々な施設が立ち並んでいます。地域の交流拠点として、千葉のセントラルパークの名の通り、世代を問わず親しまれています。また、毎年6月に開催されている大賀ハスをテーマにしたアートフェス「YohaS」にも協賛しています。



- 活動の目的**

地域の憩いの場を目指した千葉のセントラルパークの大型リニューアルは、芝庭をはじめ、親しみやすい公園づくりを目指しました。リニューアルに伴い、毎年6月に開催されているYohaSもアップデートしました。千葉市の花である大賀ハスをテーマに、ナイトタイムエコノミーにつなげ、地域の活性化を目的としています。
- 取り組み・成果**

コンセプトである「いつでもだれでもくつろげる“わたしの芝庭”」を実現させるため、約8,000㎡の芝生を創り、憩いのくつろぎ空間を創出しました。今年のYohaSでは芝庭を使った“芝庭アート”(写真右)も行われ、盛り上がりを見せていました。
- 今後の目標・課題**

リニューアルしたことで機能性、利便性が大幅に上がりました。今回は千葉公園の一部をリニューアルしましたが、残りの部分のリニューアルに向け、今回のプロジェクトを機に様々な世代に親しんでもらいながら、ユーザーと管理運営とのバランスを求めています。



メイン広場「芝庭」の横には様々な店舗が立ち並んでいます。



パンプトラックの奥には多目的ドームであるチップスタードームが見えます。



毎年6月に開催されるアートフェス「YohaS」

地域と交流し活性化させる 公園管理運営

「八王子市戸吹スポーツ公園」

所在地/東京都八王子市 活動時期/2023年4月～現在継続中

戸吹スポーツ公園では地域交流を通じた管理運営が行われています。プレーパーク開催時は地域の施設の障がい者の方々がパンを作り販売することで、就労意欲の向上に貢献。園内の花壇では地域ボランティアの方々が意見交換し、花壇づくりが行われています。

〈活動実施会社/太陽スポーツ施設株式会社〉



パン販売と花壇ボランティアの様子。地域コミュニティ活性化や公園の集客に貢献しています。

生田・コナラ林の生態系を 市民と守る

「生田緑地」

所在地/神奈川県川崎市 活動時期/2024年2月

環境省「重要里地里山」に選出されている生田緑地の雑木林ではナラ枯れが1900本を超え、その生態系や文化を後世に残すべく活動しています。市民活動団体3団体と連携し、園内のドングリ(コナラ)を5年育て、園内へ移植し、生育をモニタリングしています。



(左)「生田緑地の雑木林を育てる会」と記念撮影 (右上)「もみじ会」の活動風景 (右下)春に芽吹き喜びを共有しました。

焼却炉の排熱を有効活用した 木質チップ乾燥システム納品

「株式会社安田グリーン産業」

所在地/新潟県阿賀野市 活動時期/2022年5月～2023年12月

新潟県の産業廃棄物処理施設に、木質チップ乾燥システム「HFU」「Kantainer」を納品しました。焼却炉内で生じる温水の排熱を有効活用し、木質チップの乾燥を行います。経済性・環境性に優れた付加価値の高い木質チップの安定供給が期待できます。



(左)焼却炉 (右上)HFUとKantainer接続の様子 (右下)木質チップ乾燥中

農と生き物のつながりを学ぶ 昆虫スタンプラリー

「名古屋市農業センターdelaふぁーむ」

所在地/愛知県名古屋市 活動時期/2024年5月3日～5月5日

園内を回りながら、農と昆虫について学べるスタンプラリーを開催。スタンプにはセンター内で実際にみつける昆虫をデザインしました。クリアした方には、農業センター産のカブトムシの幼虫をプレゼント。大人から子どもまで大盛況のイベントとなりました。



配布したスタンプラリーシート

稀少草本類の移植による 環境保全

「東京科学大学 大岡山キャンパス」

所在地/東京都目黒区 活動時期/2023年12月～継続中

キャンパス内の一部が区の「めぐろの森」に設定されており、工事エリア内の稀少種自生草を移植して稀少種の保全に努めました。作業時期は当該植物が目視で発見できないため、生息地の地表ごと掘り取り、別の場所に敷き均すことで移植を実施しました。

〈活動実施会社/株式会社橋木〉



移植前は土壌分析や環境調査を実施して選定し、移植後は発生状況の経過観察を継続して行っています。

12haの公園改修内容や 魅力を伝えるイベントの開催

「しながわ区民公園」

所在地/東京都品川区 活動時期/2024年3月20日

2016～2023年に実施した再整備が完了したことを受け、記念イベントを開催しました。新たに整備した防災機能紹介の他、普段はできない体験プログラムを企画しました。今後の公園管理では、より快適に、多くの皆様に親しんでご利用いただけるよう努めていきます。



(左)公園の全景 (右上)ツリークライミング体験 (右下)公園隣接の船着場からの周遊船旅

「子ども樹木博士」 親子で身近な樹木と親しむ

「有栖川宮記念公園」

所在地/東京都港区 活動時期/2024年2月18日

港区環境課主催の生物多様性みなとフォーラムで「子ども樹木博士」イベントを開催しました。自然の中でお題を探すフィールドビンゴゲームでは五感を使って自然を感じ、樹木クイズでは身近な樹木にも様々な個性があることを親子で学びました。

〈活動実施会社/株式会社エコル〉



(左上)活動中の風景 (左下)樹木クイズ (右)社員が作成したフィールドビンゴカード

現場から始める脱炭素化 ～環境に優しい植栽管理～

「(株)日比谷アメニス九州支店」

所在地/福岡県福岡市 活動時期/2023年5月～現在継続中

九州支店では植栽管理作業において極力化石燃料を使用しない電動機械を使うことで、二酸化炭素の排出を軽減し、脱炭素化に取り組んでいます。県営天神中央公園では実質100%再生可能エネルギーを使用することで、より環境に優しい植栽管理を行っています。



化石燃料を使用しない電動機械を使用する様子

事業場リニューアルに係る 地域貢献・環境負荷低減の取組み

「花王すみだ事業場」

所在地/東京都墨田区 活動時期/2023年7月～2024年1月

100周年を記念したリニューアル工事を日比谷アメニス・北部緑地で担当しました。地域に開かれた広場の新設、新たな緑地や生き物たちが集まる水辺空間の創出による環境貢献など、人と社会と地球にやさしい事業場へのランドスケープ工事をお手伝いしました。

〈活動実施会社/株式会社日比谷アメニス・北部緑地株式会社〉



(左)カルガモや魚が泳ぐ流れを施工しました。(右上)広場には花王石鹸を模したベンチ (右下)撤去した樹木はベンチとして再利用

夢熱・プラスチック鉢に 特化した不要園芸品の再利用

「夢の島公園・夢の島熱帯植物館」

所在地/東京都江東区 活動時期/2023年12月～2024年2月

猿江恩賜公園ほかで、回収したプラスチック鉢を、夢熱で職業体験に来た中学生と洗浄。インターンシップの大学生と共に無料提供イベントを開催しました。プラ鉢は軽量で持ち帰りやすくカラフル。リサイクル率は81%。地域での園芸資材の長寿命化を促進しました。

〈活動実施会社/株式会社グリーパル〉



提供イベントはバレンタイン時期。ハート型の装飾で気分を盛り上げました。

鵜沼らしいカルチャーを育む 藤沢市初のPark-PFI事業

鵜沼海浜公園「HUG-RIDE PARK」

所在地/神奈川県藤沢市 活動時期/2024年6月1日～現在継続中

スケートボードやBMXなどのアーバンスポーツを楽しめる海浜公園整備事業の中で、植栽の設計・工事を担いました。藤沢市の木であるクロマツをはじめ、周辺環境と調和する植物を選定しました。植栽管理も行いながら、魅力ある景観づくりに努めます。



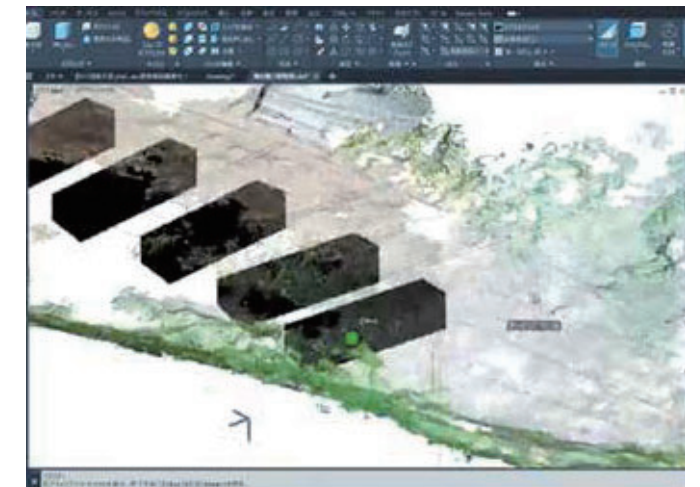
(左)開園式テープカットセレモニー (右上)園内を彩る植栽 (右下)BMXエリア

DX推進による働き方改革や 環境・社会価値の向上

「日比谷アメニス 各事業所」

所在地/東京都港区 他 活動時期/2023年8月～現在継続中

日比谷アメニスではDXに関する部門を設け各種取り組みを推進しています。生成AIを活用した営業プレゼン、施工現場での3D・AR・VR技術活用、公園等の管理運営でのアプリ活用などを試行し、効率化による働き方改革や、業務の環境・社会価値向上を目指します。



点群データをもとに擬木階段を設計した際の操作画面